

籠のはな

a個

たくさんのがんがん草を花輪にし野良猫たちに被せてまわる

花の夜 烏龍茶越しに見た世界 白く浮いてるサザンカめく日

部屋いっぱいの花束を散らしてまわる巡回の鳩

四時半の紙芝居屋のいる道をケシの色した夕日が染める

コミックの斜線の入った頬の上 押し花となる桜の花びら

真っ青なネモフィラの顔した女たち プリーツ広げ駆け抜けていく

吐き捨てたガムの裏側張り付いた何色のかわからぬ花弁

白鳥座を目指して歩く線路沿い そつと並んだハナミズキたち

向日葵と桜の花と紫陽花がいつに咲く地獄の季節

輪の中に入れない花一輪を踏んで回った蟻の速度で